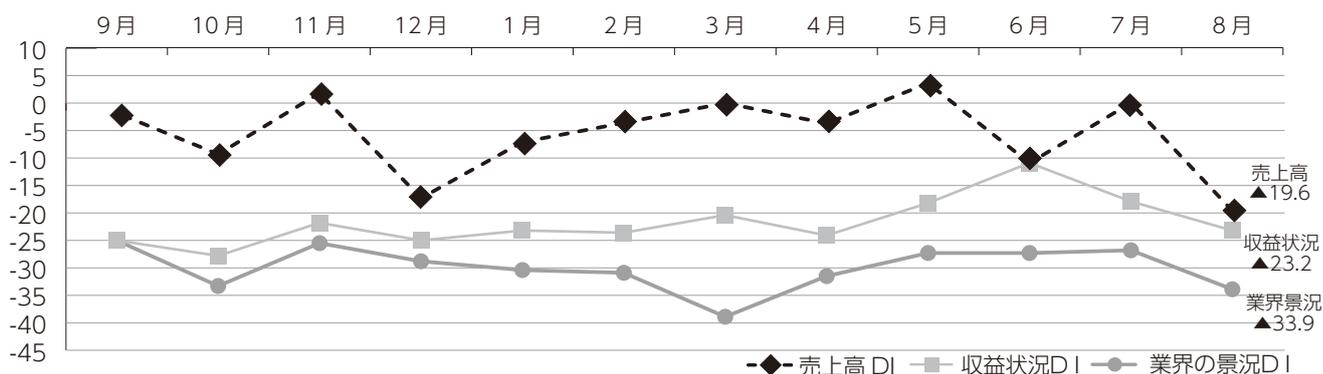


## 猛暑とコスト高騰が経営を圧迫

### 概況

猛暑が続き、生産性の低下や熱中症対策に伴うコスト増、秋冬物衣服の発注減少等多くの業界で課題が聞こえた。原材料や燃料の高騰、人手不足等への対応も依然として厳しい状況が続いており、トランプ関税等不確実な外部要因も大きく影響する中、各業界で経営が圧迫されている様子が窺えた。

### 主要DIの推移（全体）



### 景況天気図（前年同月比）

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
製造業	食料品	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
	繊維製品	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
	窯業・土石	☁️	☀️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
	機械・金属	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
	その他	☁️	☁️	☀️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️
非製造業	卸売業	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	—	☁️	☁️
	小売業	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	—	☁️	☁️
	商店街	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️	—	☁️	☁️
	サービス業	☁️	—	☀️	☁️	☁️	—	☁️	☁️
	建設業	☁️	—	☀️	☁️	☁️	—	☁️	☁️
	運輸業	☁️	—	☁️	☁️	☁️	—	☁️	☁️



天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI値を基に判断したものです。  
DI値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

## コメント掲示板

### 《製造業》

<b>食 料 品</b>	<p><b>[パン]</b> 電気料金・ガス料金の値上がりと原材料コストの上昇による経営への負担を危惧。</p> <p><b>[菓子]</b> 猛暑により月の前半は来店客が全くなかった。お盆過ぎから増え、売上は昨年並み。</p> <p><b>[製麺]</b> 荷動きは例年並み。猛暑や米の代替による需要を期待していたが動きは少なかった。</p>
<b>織 維 製 品</b>	<p><b>[織物 (桐生)]</b> 安価な製品よりも高付加価値製品の需要が高まっている。10月初旬の展示会に向け、製品開発に注力している。</p> <p><b>[織物 (伊勢崎)]</b> 小巾部門は後継者がおらず厳しい経営環境が続いている。</p> <p><b>[外衣・シャツ]</b> 猛暑の影響から秋冬物の受注が少なくなっている。</p> <p><b>[インテリア]</b> 買い控えが続いており、需要落ち込みに歯止めがかからない。</p>
<b>窯業・土石</b>	<p><b>[コンクリートブロック]</b> 猛暑の影響から現場の進捗が遅れがみられる。価格改定から売上は伸びたものの、製品原価や運送経費の値上がりから収益は微増となった。</p> <p><b>[碎石]</b> 売上高について、吾妻地域は増加し、西毛地域は不変であるが、他の地域は減少。</p>
<b>機 械 ・ 金 属</b>	<p><b>[めっき]</b> 外国人材の活用が拡大しているが、制度変更の過渡期であり、不安を感じている声が聞こえた。金利上昇による負担増加に加え、トランプ関税の影響を危惧。</p> <p><b>[機械金属 (高崎)]</b> 原材料コスト上昇や全体的な受注減少で厳しい環境下にある。金利上昇による負担増や米国の関税引き上げも重なり、収益はマイナス傾向で推移。</p> <p><b>[自動車関連]</b> スバルのEVライン変更に伴う稼働停止で、関連企業は売上が減少。電気自動車の生産予定も不透明さが増す中、関税問題も重なり、資金繰りが厳しい状況。</p> <p><b>[機械金属 (館林)]</b> トランプ関税等の影響が大きい中、スバルの生産調整もあり下請け企業は厳しい状況の様子。最低賃金アップも小規模事業者に与える影響は大きい。</p> <p><b>[半導体関連]</b> 中国市場の変動と米国の輸出規制の影響から需要減が続いている。</p>
<b>そ の 他</b>	<p><b>[製材]</b> 売上が増加したものの、仕入値も微増の状況。</p> <p><b>[家具]</b> 市場環境は厳しい状況が続いており、改善傾向はみられず。</p> <p><b>[紙製品]</b> 例年よりお盆休み期間が長かったことで、稼働日数が少なく生産量はやや減少。</p>

### 《非製造業》

<b>卸 売 業</b>	<p><b>[紙卸売業]</b> 需要低迷の影響を強く受ける中、特に印刷・情報用紙・新聞用紙の需要が減少し続けている。</p> <p><b>[機械器具]</b> 価格転嫁を実施し、収益は確保出来ている。しかし、人手不足が課題であり、事務職に応募はあるものの、営業・技術職には人員募集しても採用できない状況。</p> <p><b>[再生資源]</b> 鉄屑について、トランプ関税が一段落したことから今後の発生増に期待。古紙について、若年層を中心に活字離れが進んでいることから、今後の発生量を危惧。</p>
<b>小 売 業</b>	<p><b>[石油]</b> お盆期間中に農協関係のガソリンスタンドが大幅値下げを行い、県内全域に飛び火。</p> <p><b>[生花]</b> 猛暑の影響からお盆需要と花材の仕入れに不安があったが、例年並みとなった。高齢者に支えられている供花需要を若年層にも働きかける必要性を感じている。</p>
<b>商 店 街</b>	<p><b>[前橋市]</b> 記録的猛暑から人通りが減少。平日の賑わい創出のため「風街夕やけマルシェ」を開催しており、認知度向上と顧客定着を目指している。</p> <p><b>[高崎市]</b> 猛暑が売上に影響。その中、高崎まつりが開催され、多くの来場者で賑わった。</p> <p><b>[沼田市]</b> 一部地区での仮換地計画がまとまり、建物調査・一部取り壊し作業が始まる予定。街中人口も増加する見込みのため、新たな商業機会の増加に期待している。</p>
<b>サ ー ビ ス 業</b>	<p><b>[温泉旅館]</b> 温泉街に新しい店舗やメディア取材が増え、若者や家族連れで賑わった。しかし、原材料高騰により宿泊単価を上げても利益は少なく、人材不足も継続しており、厳しい状況が続く。また、大阪・関西万博の影響からか前年同月比の予約数に減少がみられた。</p> <p><b>[不動産取引]</b> 主要都市部は比較的底堅いが、郊外は依然として空き家問題と建売住宅の販売不振が顕著。ローン金利上昇や価格高騰、ライフスタイルの変化等複合的な要因が影響。</p>
<b>建 設 業</b>	<p><b>[建設]</b> 現場の暑さから新入社員の離職が増加している。また、近隣県との賃金差から県外へ働きに出る人も多く、若年層に限らず人材確保に苦慮している。</p> <p><b>[電気工事]</b> 電線の単価が上昇傾向にあり、収益向上につながらない。さらに、高気温・高湿度が続いており、対応するための経費が増加している。</p> <p><b>[塗装工事]</b> 猛暑による生産性低下と大型連休により売上高は減少。この異常な猛暑が続くことを危惧して、若手が離職しているとの報告が聞こえている。</p>
<b>運 輸 業</b>	<p><b>[一般貨物運送]</b> お盆時期に飲料水出荷が堅調も、その後は極端に落ち込み、荷量は全体で前年並み。食料品関係の値上げ影響等で全体的に荷量が減少し、組合員の減収に繋がった。運賃改定交渉が鈍化する中、燃料価格の先行き不透明感から、収益確保に不安が残る状況。</p>

※本調査は、情報連絡員56人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。